

# 夏鳥

カッコウ  
(カッコウ科)



ツバメ  
(ツバメ科)



オオ ↑  
ヨシキリ  
(ウグイス科)



ヨタカ ↓  
(ヨタカ科)

ホトトギス (カッコウ科)  
コアジサシ (カモメ科)  
アマツバメ (アマツバメ科)

# スズメ ドバト カラス



タンチョウ  
(ツル科)



アカゲラ  
(キツツキ科)



イヌワシ  
(タカ科)



雷鳥  
(ライチョウ科)

# フクロウ シジュウカラ カワセミ

オナガ (カラス科)



キジ  
(キジ科)



メジロ  
(メジロ科)



ミソサザイ (ミソサザイ科)



日本  
最小  
10cm



ヒバリ (ヒバリ科)



ウグイス  
(ウグイス科)



ウソ  
(アトリ科)

# 漂鳥



ウミネコ  
(カモメ科)

# 冬鳥

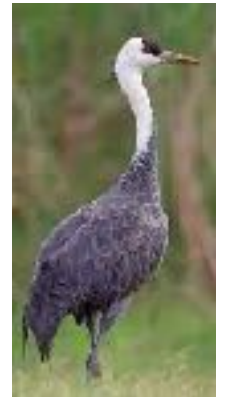
オオハクチョウ  
(コハクチョウ)  
(カモ科)



マガモ(♀)  
マガモ(♂)  
(カモ科)



カモメ  
(カモメ科)



ナベヅル  
(ツル科)

マガン (カモ科)  
ツグミ (ツグミ科)  
ユリカモメ (カモメ科)

鳥は、科による分類で渡りをするかは分けにくく、また、住む地方により、渡りをしたり留まったり漂ったりもします。例えば、「カルガモ」は本州以南では「留鳥」ですが、北海道では「夏鳥」になります。さらに、ツルの仲間では、北海道の「タンチョウ」は留鳥ですが、「ナベヅル」「マナヅル」は冬鳥です。上記は割と分かりやすい鳥類をまとめたものですが、必ずではないことをご理解下さい。